

# 幼稚園・保育園における 防災力向上プログラム

災害発生時の被害を最小限に抑え、子どもたちと  
スタッフの安全と安心を一緒に考えませんか



園児の防災意識を育む  
「防災体験プログラム」

園スタッフの対応力を  
高める「DIG訓練  
(グループワーク)」



各幼稚園・保育園のご要望に沿って  
プログラムを柔軟に組み合わせることが可能です

# 園児の防災意識を育む 「防災体験プログラム」

園児などの災害時の行動や避難所生活の疑似体験を通して、  
子どもたちの防災意識の向上を図ります

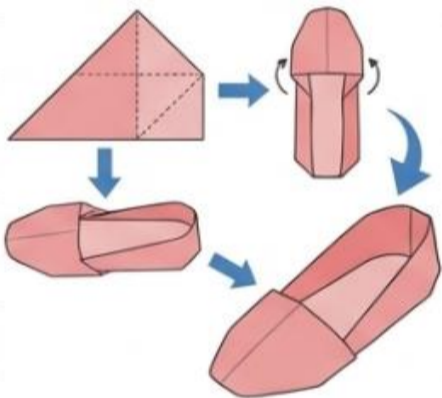
## 防災紙芝居

「ぐらぐらぐら～ じしんだ～  
こんなとき、君ならどうする？」  
クイズをしながら、地震時の基本的な  
避難行動を楽しく学習します。



## 防災あそび

折り紙スリッパ、火・煙からの避難を模した  
防災鬼ごっこなどを体験します。



## 【実施後の 園の感想】

- ・教えるのではなく遊び  
体験を通して避難・防  
災を学ぶことができた
- ・上履きがな  
かった園児  
が自ら防災  
スリッパを  
作った
- ・職員もこれ  
らの活動を  
知っておき  
たい

## 非常食の試食

長期保存パンやフリーズドライ  
などの非常食を実際に試食し、  
お家での備え（ローリングス  
トック）についても話し合いま  
す。



## 防災ハイキング

実際の避難所まで先生と一緒に散歩し、  
避難経路の危険ポイントを確認する模擬避  
難体験です。園に帰り皆で振り返ります。  
他のプログラムとの組み合わせも可能です。



# 園スタッフの対応力を高める 「DIG訓練(グループワーク)」

園の事業継続に不可欠な「生きた行動マニュアル」づくりや「行動できる人」づくりのきっかけを提供します。

## 研修の流れ

### 【導入】

- ・研修のねらい
- ・地域でどんな地震が起こるか
- ・DIG、BCP(事業継続計画)とは



### 【グループ討議①】

『地震発生時に園やその周辺がどんな状況に置かれるのか、どんなリスクがあるのかを考える』



### 【グループ討議②】

『地震発生からの時間経過に合わせて「だれが」、「何を」、「どのように」行動するかを考える(タイムラインの作成)』  
\*地震発生時刻や被害の状況を具体的に設定して討議する



### 【グループ発表】

グループでの討議した内容をまとめて発表

## 背景

### 【多くの園の声】

「災害対応マニュアルは作成しているが実際に使えるか不安」  
「努力義務化されたBCPを具体的にどう作成したらよいのか知りたい」・



時間経過	何を(行動すべきこと)	誰が	どのように
地震発生			
地震直後			
半日			
1日			
2~3日			
1週間			

## 研修のねらいと効果

- ・災害を「わがこと」と捉え、災害に対する想像力を養います
- ・地図や園の平面図を活用し、災害時に現場で起こりえる状況や防災上の課題を可視化できます
- ・BCP作成のアプローチのしかたや行動計画の具体的な内容、事前準備が必要なもの・必要なことが見えてきます

### 【実施後の園の感想】

- ・被災した時のことを想像し、他職員と共有し、さらに新しい発見があった
- ・備蓄について改めて考えさせられた

標準の所要時間は2~3時間です。園のご事情に合わせて時間や内容のご相談をさせていただきます。

# NPO法人 ひょうご地域防災サポート隊について

私たちは、土木・建築・農林関係の兵庫県職員OBを構成員とするNPO法人です。「守れいのちを！」を合言葉に、それぞれの地域や園の実情に合った防災・減災対策のサポートを行っています。

## 【主な活動内容・実績】

- 幼稚園・保育園・学校での防災力向上支援  
幼稚園・保育園での「園児の防災体験」や「DI G訓練(災害図上訓練)」のほか、高校での防災講座などを実施しています。
- 行政・地域住民向けサポート  
市町の避難所担当職員訓練の支援（HUG訓練(避難所運営図上訓練)）、地域団体の「防災マップづくり」、尼ロック防災展示室公開などを通じて、地域の防災力の向上に貢献しています。
- 各種団体・企業向けの防災講演  
高齢者大学、建設安全大会、保健所検査技師会、消防保安協会、一般企業セミナーなど、幅広い団体に向けて防災講演を行っています。

## 【実施に際して】

実施に際しては、現地にお伺いしたりメールで打合せいたします。防災体験やDI G訓練で使用する機材や食材等は原則として園でご準備いただきますが、備えがない場合はサポート隊が有償で準備することも可能です。

## 【費用】

プログラムの実施に対して費用をご負担していただきます。貴園の園児・職員数、当方の担当者数や交通費により変動しますが、3～5万円程度になります。

## 【お問合せ先】

プログラムの開催時間帯や内容は、ご要望に合わせて可能な限り調整いたします。

まずはお気軽にご相談ください。

メールアドレス : [info@support-tai.org](mailto:info@support-tai.org)  
ホームページ : <https://support-tai.org>

